

令和5年度千葉県赤い羽根共同募金の助成が決まりました！

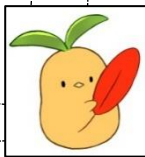


赤い羽根共同募金「テーマ選択募金」では、寄付者の皆さまが様々な地域課題に対し応援したい活動を選んで寄付し、その寄付額が団体への助成額に直接反映されるものです。子ども劇場千葉県センターは、【テーマ②子どもに対する支援、テーマ③子育て支援のための事業】に3事業が選ばれました。頂いた助成金に感謝すると共に、課題解決に向けて取り組んで参りま

18歳までならだれでもOK
うれしいこともかなしいことも、なんでもはなしていいんだよ！
チャイルドライン千葉
0120-99-7777
通話無料(携帯・スマホもOK) オンライン相談は
まいにち ごこ4時~ごこ9時 はこちらから
主催：NPO法人 子ども劇場千葉県センター
後援：千葉県教育委員会 千葉市教育委員会
このカードは赤い羽根共同募金の助成によりつくられています。

「気持ちに寄り添う心の居場所「チャイルドライン千葉」をアドカードとポスターで中学生に知らせる」

- 話を聴いてほしいとの動機が年々増え、令和3年度では81.3%となった。気分の落ち込みが主訴とする話も前年比30%増となった。コロナ禍での学校生活は日常を取り戻したかに見えるが、自殺念慮、希死念慮がうかがわれる話が増え、特に中学生からは死にたい、消えたい、生きる意味が分からない、親に否定された、いじめられている、友人とうまくいかないなどの負の感情に耳を傾けているうち、話せてよかった、気持ちが楽になったと話し終わることも多い。寄り沿って話を聴く心の居場所があることを子どもたち一人一人に知らせていきたい。
- フリーダイヤル(0120-99-7777)番号及びオンラインチャットのQRコードを明示したアドカードとポスターを印刷し配布する。アドカードを県内54市町村教育委員会と千葉県教育委員会を通して県内公立中学校362校の生徒に、フリースクール等の子どもへ3万枚配布。



あなたをひとりにしない・させない! 「ママパパライン」
「ママパパラインちば」
子どもをもつママ・パパ・家庭の子育ての悩みや不安な気持ちを電話でお聞きします。なまえ・住所などはおききしません。安心してゆっくりおはなしてください。電話だからこそ何でも言える。気軽にダイヤルを!
043-204-9390
毎週金曜日 10:00~16:00
キャンペーン:2024年2月5日(月)~2月10日(土)
6日間毎日 10:00~16:00

「ママパパラインちば」の情報をアドカードで当事者に届ける」

- 養育者自身の辛さや苦しさ、イライラ、怒りが爆発しそうな自分を訴える声が多く、コロナ禍での長期自粛生活を起因としたトラブルや子どもに関する心配等で、特に母親の心身にじわじわと影響が出ている。昨年271件(一昨年比+71)と開設以来、最多の件数だった。
- 足掛け3年のコロナによる自粛生活で、これまでも増して虐待・相談件数が増加している。養育者を受け止める・寄り添う等、社会全体で支援することが緊急の課題だと認識している。
- 県内の当事者に「ママパパラインちば」(電話番号/043-204-9390)の情報が届くよう、アドカードを印刷し配布する。
- 配布は54市町村子育て支援課を通じて乳幼児保護者へ。教育委員会を通じて小学生の保護者に配布する。

「0.1.2.3歳が会うはじめてのおしばい」

- 乳児院で暮らす乳幼児に対しプロの芸術家によるワークショップを行い、多様で豊かなあそびや文化にふれる機会をつくり、環境による体験の格差がない環境づくりに寄与する。
- 豊かに生きていくための非認知脳力の形成や成長発達を促す機会とし、施設での遊びの豊かさに寄与する。
- 県内3か所の乳児院へ施設の費用負担がないように届ける。
- 乳児院の子どもたちの生活を支えている保育士やスタッフが乳幼児と一緒に楽しみ、日常の遊び、コミュニケーションツールの拡大の参考にしてもらう。



編集後記：巻頭を飾った「こども家庭庁」「子ども基本法」スタートの年に、私たち大人が、子どもを真ん中にした社会をつかっていくために、具体的に何をを目指すのか、また、本当の子どもの権利を考えての動きにしていくためには、どうしたらいいのか、私たちの意識が大切ですね。そのための地域や団体で学びの機会を持ち、理解を深めていきたいですね。